

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鳥取市立津ノ井小学校（鳥取県）【指定校】

【取組内容】 学びの多様性を保障することで、学びの質を高める

「表現方法」「考え方」の多様性を認める



個別最適な学びと協働的な学びが一体化する

1年生 国語科

「かたかなをみつけよう」

- 様々な場所から情報を集める
 - ・事前に家庭学習でかたかなを見つける。
 - ・広告からかたかなを見つける。
- ⇒写真に撮り、画面上に印を付けて文字を書く。
- ⇒友達に分かりやすく伝えるという相手意識と目的意識をもって編集する。



広告の紙面から、かたかな表記を見つけて撮影

2年生 国語科（教材文：スイミー）

「お話を読み、好きなところをつたえよう」

- 端末を活用する
 - ⇒書くことに困り感のある児童も意欲的に学習に向かう。
- 端末に学習履歴を残す
 - ⇒自分の学びの足跡を振り返ることができた。
- 端末を活用させることで、児童自身で学び方を見つけることができた。



表現のツールとして、ノートか端末かを選んで取り組む子どもたち

3年生 算数科「式と計算」

- 個々の意見を共有する場面で、学習支援ソフトを活用。
- ⇒児童も教員も、より多くの友達の意見を知ることができた。
- ⇒児童とは異なる友達の考えを知り、自分の学びに取り入れられた。



友だちの考え方や意見を共有できる画面で、他者参照しながら学ぶ

(児童の変容)

- 自分が表したい表現の手段を選択し、相手意識をもち、学習に取り組めるようになった。
- 対話のある授業に積極的になった。

(教員の気付き)

- 多様な学習方法を用意し、提供することの重要性に気付くことができた。
- 個々の考えを把握することで、学習の見取りと手立ての構築が容易となった。